令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：みどり自然課
担当名：野生生物担当
内線：3154

（単位：千円）

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B32	野生生物保護事業費	一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	生物多様性保全推進事業費

事業期間	昭和38年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律	宣言項目	
				分野施策	051247　生物多様性の保全

1　事業概要

野生生物の生息数や生息地を適正なものとするため、生息状況等を調査するとともに、鳥獣保護管理事業計画に基づき、野生生物の適切な保護管理を図る。

（1）カワウ広域保護管理事業　△738千円
（2）オオタカ等保護促進事業　△8千円
（3）ツキノワグマ生息調査　△3,650千円

2　事業主体及び負担区分

（県10/10）

3　地方財政措置の状況

普通交付税（単位費用）
（区分）林野行政費　（細目）鳥獣行政費
（細節）鳥獣行政費
（積算内容）鳥獣保護事業の実施等に関する事務

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×0.9人＝8,550千円

5　事業説明

（1）事業内容

ア　カワウ広域保護管理事業　関東カワウ広域協議会参加、県協議会開催、生息状況調査　1,867千円→1,129千円
イ　オオタカ等保護促進事業　生息状況調査（県内179か所）　1,119千円→1,111千円
ウ　ツキノワグマ生息調査　生息状況調査　6,477千円→2,827千円

（2）事業計画

ア　カワウ広域保護管理事業　関東カワウ広域保護管理指針に基づき、毎年度調査及び協議会を実施
イ　オオタカ等保護促進事業　オオタカ営巣地調査を実施
ウ　ツキノワグマ生息調査　ツキノワグマ生息状況調査を実施

（3）事業効果

ア　カワウを絶滅させることなく、被害を減少させるために、隣接都県と連携した広域的な調査や対策を実施できる。
イ　県内で生息数の少ないオオタカ及びクマタカを、開発行為等から保護するための生息情報を得ることができる。
ウ　被害の実態や生息域等を把握し、ツキノワグマの適切な保護と被害防止の両面で対策の検討が可能となる。

（4）補正予算の概要

ア　委託料の契約差金の発生に伴う減額　△4,386千円
イ　経費削減による減額　△10千円

予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
決定額	△4,396							△4,396	5,067
現計額	9,463							9,463	